

生駒市文化財保護審議会会議録 要点筆記

1 開催日時 令和4年3月18日（金）午後6時～

2 開催場所 市役所4階 401・402会議室

3 出席者 （委員） 今木委員 谷山委員 中谷委員 吉川委員
（事務局） 八重生涯学習部長 清水生涯学習課長
井川生涯学習課長補佐
吉川生涯学習文化係
上田生涯学習文化係
錦図書館北分館長
（生駒ふるさとミュージアム）山内館長、川野副館長

4 欠席者 （委員） 藤澤委員

5 会議の公開・非公開 公開 傍聴人 なし

6 議事

教育長あいさつ

- (1) 役員改選
- (2) 令和3年度事業執行状況
- (3) 令和4年度事業計画
- (4) その他

7 議事内容

- 教育長あいさつ
- 事務局紹介
- 審議案件

(1) 会長・副会長の選出について

全会一致で、会長は今木義法委員、副会長は藤澤典彦委員に決定。

(2) 令和3年度事業執行状況について

事務局 (説明)

(質 疑・意 見)

吉川委員 埋蔵文化財の発掘について、調査面積などの情報を事業執行状況資料に加えていただけると、調査の規模が明らかになりありがたい。
令和2年度に実施した警察署建設地の調査は大変広範囲であるが、もう終了しているのか。

事務局 榎原考古学研究所による調査は令和2年10月から12月の期間ですでに終了している。調査概要が令和3年3月に送られてきている。

吉川委員 結果は遺物のみということだが、大変広い面積且つ重要な場所なので、どのような遺構が出たのか教えて欲しい。

事務局 中菜畑・一水口遺跡の包蔵地にあたる場所であるのが、竜田川氾濫の地層のため、遺物は出たが重要な遺構は確認出来なかったと報告を受けている。

吉川委員 資料については今後遺構の情報も加えていただきたい。

谷山委員 生駒ふるさとミュージアムの来館者数について、新型コロナウイルスの影響はあると思うが、ここ何年かの数値と比較してどういった傾向があるのか教えて欲しい。傾向が分かれば改善の議論もできるためありがたい。

事務局 直近5年間の来館者数を比較すると、平成31年の9299名をピークに新型コロナウイルスの影響で来館者数が減少したが、令和3年度は過去2年の来館者数を上回り、比較的増加傾向にある。特に夏休みの時期に勾玉づくりに訪れる市内小学生が多く、要因の一つとなった。

谷山委員 発掘調査については、他自治体の審議会では調査の様子や遺構の様子も報告に盛り込まれており、その中で特に重要な成果についてスライドなどを用いて説明があるなど、議論し易い資料内容となっている。生駒市についても次回は改善をお願いしたい。

(3) 令和4年度事業計画について

事務局 (説明)

(質 疑・意 見)

中谷委員 熱心に取り組まれており大変うれしく思っている。今年度中に発刊予定の古文書調査報告書はとても楽しみにしている。

ミュージアムの来館者数が増えたということだが、学校からの見学者も一つの要因なのか。

事務局 先ほどの勾玉体験に加え、特別及び企画展の来館者数も徐々に増加傾向にある。

中谷委員 今木先生の講座がいつも満席で大変好評だと聞いている。ぜひこれからも続けていただきたい。出前教室についても次年度の内容をとても楽しみにしている。

乙田浄瑠璃の事業にも参加しているが、本年度は文化庁を通じて淡路人形座の淡路人形浄瑠璃に関わる機会があった。文化庁事業の為大変安価で公演が実現できるが、申込してもなかなか当たらない貴重な公演にこの度当選し、生で拝見したが本当に見事な内容であった。こういった出前授業ができるよう努力していきたいと考えている。ミュージアムの出前授業にも協力したいのでぜひよろしくお願したい。

乙田浄瑠璃・芝居資料保存施設補助金交付の計画があるが、こういった内容か。

事務局 外壁の塗装や必要な補修を実施すると県を通じて聞いている。

谷山委員 市史の編さん事業が始まっているが、こちらでも講演会の企画がされている。ミュージアム講演会の事業計画で、前半は内容が決まっており、後半は未定とのことであったが、現在市史編さんの執筆に携わっている各専門分野で生駒について調べている31名の方々と協力して講演会が実現すれば、内容に非常に期待が持てて、良いのではないか。

事務局 今年度は市史編さんの講演会を11月に開催し、来年度も大きな講演会を予定している。その他に「生駒歴史キャンパス」という、生駒の地域学習

イベントの開催を予定している。来年度は北地区を中心に、北地区の自然と歴史を学ぶといった内容で（京都大学の）吉井先生に歴史の概論をしていただき、フィールドワークは高山城跡の城郭の研究をしている（近畿大学の）新谷先生にご依頼をしている。鷹山氏については（天理大学の）天野先生に、近世史については吉田先生をお呼びして講演いただく予定。また、大きな講演会としては古代史の講演会を予定しており、（京都大学の）吉川先生を中心に企画をご依頼している。

山内館長 ミュージアム単独の講演会としても、市史編さんの執筆メンバーが講演いただけることはとてもありがたく考えており、ぜひ具体的に進めたいと考えている。

谷山委員 生駒市内指定文化財については、指定数がまだまだ少ないと考えている。ここの審議会のメンバーは全ての市内文化財に目配りできているわけではないので、市史編さんに併せて現在各分野で調査が進んでいることから、市史の各分野の担当から指定物件の候補が出てくると良いと考えている。せっかく市史編さん事業を進めているのでこの機会を活用してはどうか。

吉川委員 昨年に引き続いての発言となるが、文化財行政の基本は、生駒市文化財保護条例内でもうたわれているとおり、重要な文化財を指定することである。文化財保護審議会についても、指定文化財に関する諮問を受けることが基本だと考えている。生駒市文化財保護条例第4条で、指定の主体は教育委員会だと書かれているにも関わらず事業計画に「文化財指定」が入っていないのはなぜか。

事務局 どういったものを指定して良いのか決めかねている状態であり、指摘のあったように、市史編さん事業の機会をうまく活用していきたい。

吉川委員 指定されていないものも含めどういった文化財があるかは生駒デジタルミュージアムでも確認ができるわけなので、例えば2年に1つ指定していくなど具体的な目標を立てて計画してはどうか。このままでは指定が増えない状況が続く。指定文化財を増やすことは市民の皆さんが文化財の認識を高める基本になるので、来年度はきちんと目標、方針等をぜひ示していただきたい。

山内館長 現在ミュージアム冬季特別展「生駒市 長福寺展」で展示している木札文

書などは、他にはない貴重なものなので候補になるのではないか。

吉川委員 木札文書は確かに貴重なものではあるが、市の指定を考える際には県などの指定がなされている場合があるため、注意しなければならない。

事務局 長福寺本堂がすでに国の重要文化財となっているため、木札文書については本堂に付け足して指定される可能性があるため、現在市指定に向けて動いていないのが現状である。

今木会長 指定についてなかなか進行しない一番の要因はなにか。

事務局 大変難しい問題ではあるが、例えば市史に建造物の解説を盛り込むため生涯学習課主体で行っていた悉皆調査が市内全域終わったところである。その中から重要なものや優秀なものを見つけ出して、市史の材料にしていこうと考えている。その中には建造物として市の指定になり得る物件もあると考えている。

また、かねてから文化財保護審議会では仏像分野の委員を探す議論が出ていたが、仏像の調査は現在北地区が完了し、中地区の調査は宝山寺の調査で中断しているところ。市史編さん事業が始まってから大乘滝寺に伺い調査をしたところだが、他に二十カ寺調査する箇所が残っている。県指定になるか、市指定になるかの見極めも必要になり、全て調査し終わる、あるいは目途が立ったところでようやく具体的に指定ができるのではないかと考えている。各分野の調査進行によって指定の候補が出てくるのではないか。

吉川委員 審議会の委員は7名まで置くことが出来るとうたわれているため、現在市史編さんで携わっている先生に加えて、ぜひ建築史や美術史の方に入っていただきたいと考えている。

(4) その他

特になし。

会長あいさつ

<閉会>